



ひろしま農振

NEWS ニュース

第6号

H8 3/1

【財団法人 広島市農業振興センター

〒739-17 広島市安佐北区深川八丁目30番12号
TEL (082) 845-4770
FAX (082) 842-2149

がんばれ“ひろしまそだち”



安佐北区安佐町で乳牛約40頭を家族と共に飼養している渡辺さん夫妻



東区福田で電照ダリア、宿根カスミソウ、トルコキキョウのハウス栽培を行っている平川さん



安芸区阿戸町でアイガモ水稲同時作を中心に黒大豆、シュンギク、ハウス切花のペニバナ、アスター等栽培を行っている柚木さん



安佐北区白木町下井原で1.2haのアイガモ水稲同時作を行っている佐高さん



安佐南区川内でナス、広島菜の露地栽培とキュウリ、軟弱小物野菜のハウス栽培を行っている倉本さん



安佐南区西原でハウレンソウ、シュンギク等のハウス軟弱小物野菜を周年出荷している中村さん



佐伯区八幡でフキを中心にハウレンソウ、ネギを栽培している坂本さん



佐伯区坪井でシンテツポウユリを中心に約20品目の切花栽培に取り組む寺本さん





▲工事中のほ場整備地区(安佐町明見谷)を視察された、沼田町阿戸地区のみなさん

「新しい農地をめざして」 — 現地視察研修 —

安佐町明見谷地区の営農組合では、生産性の高い農業の実現とそれを担う経営者の育成などを図るため、急傾斜地のほ場整備事業に取り組んでおり、工事も完成間近となりました。又、こうした急傾斜地のよりよい整備を望まれている市内各地の方々が視察に訪れ、地域づくりの学習をされています。



地元代表者の古廣さんによる説明▶



「住みよい環境を目指して」 — 工事中の農業集落排水事業 —

農村の水質保全と水洗化による快適な生活環境の向上を目的に実施している農業集落排水事業も、白木町井原地区で一部供用開始し、他の地区も着々と工事が進んでいます。

- 現在工事中の地区
 - 白木町：井原、三田、上三田、市川
 - 安佐町：小河内
 - 以上5地区
- 来年度工事着手予定
 - 白木町下三田地区

◀現在建設中の小河内農業集落排水処理施設

認証制度決定

— “ひろしまそだち” 特産化事業 —



▲認証制度における会議の様子

平成7年9月26日(火) J A広島市中筋支店で“ひろしまそだち”特産化推進協議会が開催されました。

今回の会議で、広島市域で生産された農畜水産物の認証制度の方針が了承されました。

この認証制度は、生産地、栽培方法、鮮度等、消費者が安心して購入できる基準を設け、生産者、小売店等の申請に対して審査、認証を行うものです。

この認証には、地場産の認証と品質(安全、健康、おいしさ、新鮮、特産)についての認証の2通りがあります。

今回は、まず地場産の認証から取り組み、品質については今後具体的な内容の検討を行った後、実施されます。



▲店頭表示が始まる地場産認証マーク

「まかせんさい」広島市女性農業士誕生!



▲左から下谷さん、岩崎さん、山本さん

農業に従事する女性のリーダーとして、広島市が「女性農業士」3名を平成7年8月21日に認定しました。政令指定都市では初めての制度です。認定されたのは、長年生活改善に取り組んでいる岩崎綾子さん(安芸区)、農産物の加工や産地直売を行っている山本雅子さん(東区)、電照冬切りダリアの施設栽培をしている下谷邦代さん(安佐北区)の3名で、今後、(財)広島市農業振興センターが知識や指導力向上を目指した研修を3年間行います。

ザ・産地づくり特集

— ネギ移植機で効率アップ —



▲ネギ栽培の効率化が期待されるネギ移植機

新技術レポート(白木町上井原地区)

白木町上井原の中川さんの農園に、ネギの移植機が導入されました。

448穴のプラグで育苗した苗を、移植する前日に根鉢が崩れないよう土壌硬化剤で処理を行い、移植機にセットします。4条植えで、条間24cm、7.5cmピッチで植え付けられ、50m直進で所要時間が約8分。Uターンなどの手間をいれて約4aのハウスの植え付けにかかった時間が50分程度です。慣れてくれば、もっと時間が少なくてすむでしょう。移植栽培でハウスの利用効率がよくなり、直播き栽培に比べて、年に1作は増やすことができるのではないかと期待されています。

新しくなった小河原有機センター — 良質発酵鶏ふんを製品化 —

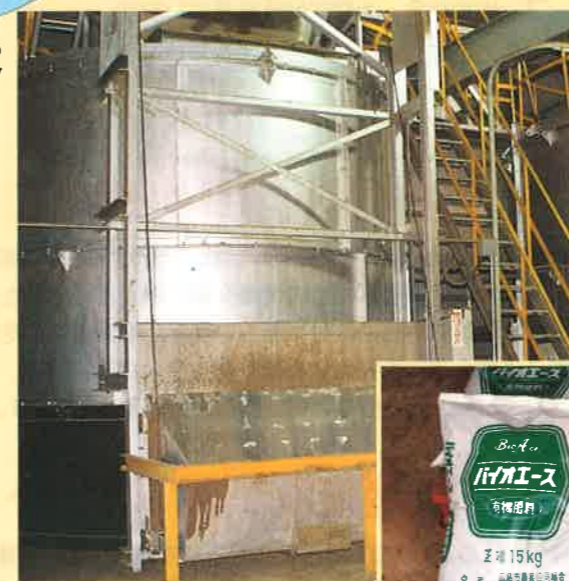
J A広島市小河原有機センターは、広島市民の鶏卵消費の30%を生産する小河原養鶏組合とJ A広島市が一体になって管理、運営する鶏ふん処理施設です。従来の施設を移転し、平成7年4月に新しくオープンしました。生ふんを数日で処理することができる発酵機2基を導入し、良質発酵鶏ふんの製品化と販路の拡大に取り組んでいます。

同センターでは、「発酵鶏ふんを大いに利用して、有機農業に役立ててもらいたい」と話しています。

お問い合わせ先

- J A広島市小河原有機センター TEL.844-0343
- J A広島市中筋支店営農部施設事業課 TEL.870-4111

なお、「牛ふん堆肥」については、市内の酪農家をご紹介します。広島市酪農振興協議会事務局(農業振興センター畜産係) TEL.845-4378



▲発酵機



▲15kg袋詰めの製品

TOPICS

トピックス



バイオ水ブキの供給始まる!

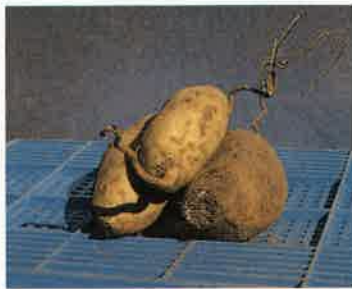
園芸課では、ハウス向きの「愛知早生」に続いて、露地向きの水ブキのバイオテック苗の供給を始めました。水ブキは「愛知早生」ほど大きくはなりません、緑色が鮮やかで、あくが少なく、良質のふきのとうも収穫できます。主に安佐北区の産地に供給しています。



▲将来有望なバイオ水ブキ

ビタミンの宝庫 シモンイモを試験栽培

園芸課では、健康野菜として話題のシモンイモの試験栽培を行いました。栽培期間は6～10月、栽培方法は通常のサツマイモ栽培と同様に行えます。シモンイモは、ブラジルのジャングルで発見された白いサツマイモで、ビタミンKに富み、止血効果が高いことから、健康野菜として話題となっています。園芸課では来年度も栽培を行い、シモンイモの特性調査を継続します。



▲健康イモ“シモン”



好評! 花木園芸教室

花みどり公園では、花木、草花の栽培や繁殖についての講習会のほか、花木園芸教室を開いています。平成7年度には庭木・シヤクナゲの栽培を中心とした内容で3回開き、好評でした。平成8年度も引き続き3回程度行う予定です。ぜひ御参加ください。また、世界のシヤクナゲを集めたシヤクナゲ展と花木展を4月27日～5月6日に開催する予定です。なお、詳しいことは市の広報紙に掲載します。



◀花木園芸教室風景



ログハウス風農産物直売所 1・2号店オープン

“ひろしまぞたち”特産化事業ですすめる農林産物直売所第1・2号店が、平成7年にオープンしました。

「朝採り市、ウエルネス生石子」と銘打つ第1号店は、6月に安芸区瀬野の県道沿いにオープンし、行き交う主婦やサラリーマンの目を引き大変な好評を得ています。



この直売所は、瀬野川

▲生石子直売所

農事研究会生石子(ういしご)そ菜組合15名が、完熟トマト、長ナスなどの果菜類やシュンギク、ハウレンソウなどの葉菜類、椎茸、花木類まで、数十種類の品目を揃え、3坪の売り場には、色とりどりのものが、所狭しと並び、いつも売り切れる盛況ぶりです。

営業日 火・水・木・金・土 営業時間 9:00～(夏は8:00～)

「アムケット戸山」と銘打つ第2号店は、10月に安佐南区沼田町伴のJA広島市伴支店にオープンしました。



この直売所は、沼田町戸山地区の農家グループ31戸により運営されてお

▲アムケット戸山直売所

り、生鮮野菜、花、椎茸、農産加工品等豊富な品揃えで、1号店同様にオープン当初から、大変な好評を得ています。

営業日 火・木・土曜日 営業時間 10:00～12:00



「産直ネット、 安佐北産直倶楽部連合会設立」

産直の組織化が各地ですすんでおり、特に、安佐北区では朝市の関係者が集まり産直農家相互の情報交換の場とするとともに、生産技術及び販売方法の改善や新しい商品の研究・開発を目的として、この9月に安佐北産直倶楽部連合会が設立され、今後イベントの参加、講習会などの活発な活動が期待されます。



認定農業者制度スタート

経営規模の拡大などによって経営を発展させていこうとする意欲ある農業者の経営計画を市が認定し、関係機関が一体となって応援する認定農業者制度ができました。この認定を受けると、低利融資や税制上での優遇措置などを受けることができます。詳しくは市農政課・(財)広島市農業振興センターへお問い合わせください。